

【全入院患者部門サーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、全入院患者を対象として主要な薬剤耐性菌による感染症患者の発生率に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における薬剤耐性菌感染症の発生状況を明らかにすることである。

我が国において主要な薬剤耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）、バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）、多剤耐性緑膿菌（MDRP）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）、多剤耐性アシネトバクター属（MDRA）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）の7種の薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数および罹患率を算出する。

薬剤耐性菌は、巻末資料の判定基準に準じて各医療機関が判定しており、感染症の判定は原則以下の1.または2.に該当した場合とする。

1. 主治医（担当医）以外のサーベイランス担当医、感染症専門医（あるいは感染制御チーム等）が「感染症」と診断した場合。
2. MRSA が分離された患者の場合は、感染部位の炎症所見あるいは全身性の炎症マーカーが陽性で、抗 MRSA 薬が投与されている場合。

また、性別、年齢別、検体別、感染症名別、診療科別の集計も行い、医療機関の薬剤耐性菌による感染症発症状況のベンチマークとなる情報を提供する。

【公開情報の一部改訂について】

2025 年 4 月 7 日付で感染症法に基づく届出基準が一部改正されたことに伴い、2025 年 10 月 1 日より JANIS の「薬剤耐性菌 判定基準」を「Ver.3.3」から「Ver.4.0」に更新した。

JANIS 全入院患者部門における感染症の判定は、判定時点での感染症法および JANIS の「薬剤耐性菌 判定基準」に基づき、上記の通り各医療機関が実施しており、当年報における感染症患者数は医療機関から報告された結果を集計している。

「薬剤耐性菌 判定基準」については、巻末資料参照のこと。

【図表】

1. データ提出医療機関*数
2. 新規感染症患者数と罹患率
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳
4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳
5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳
6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳
7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

【解説】

1. データ提出医療機関数

2025 年年報（2025 年 1 月～12 月）の集計対象医療機関数は 1,038 医療機関であり、前年より 20 医療機関増加した。これは国内 8,060 医療機関の 12.9%を占めていた。

2. 新規感染症患者数と罹患率

総入院患者数は 6,034,750 人であり、前年より 145,725 人増加（2.5%増）した。前年まで新型コロナウイルス感染拡大前の水準に回復しきれていない状況が続いたが、2025 年の総入院患者数はその水準を上回り、2019 年の総入院患者数 5,981,681 人と比べて 53,069 人の増加であった。

対象とする薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数の合計は 16,723 人（前年に比べて 34 人の減少）であった。このうち MRSA は 16,004 人（95.7%）を占め、次いで CRE 415 人（2.5%）、PRSP 230 人（1.4%）、MDRP 53 人（0.3%）、VRE 19 人（0.1%）、MDRA 2 人（0.01%）であった。

新規感染症発症患者数が前年に比べて増加したのは MRSA と MDRA であり、MRSA は 339 人増加（2.2%増）した。MDRA は前年の 1 人から 2 人となった。他の薬剤耐性菌については、CRE 238 人減（36.5%減）、PRSP 104 人減（31.1%減）、VRE 17 人減（47.2%減）であった。CRE と PRSP の患者数の減少は、2025 年 4 月 7 日付で感染症法に基づく届出基準が改正された影響を受けていると考えられる。

各薬剤耐性菌の新規感染症患者数を分子、（総入院患者数-継続感染症患者数）を分母とした罹患率は、MRSA では 2.65%、CRE 0.07%、PRSP 0.04%、MDRP 0.01%であった。

なお、VRSA による感染症の報告はなかった。

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

新規感染症患者の合計は、女性よりも男性の方が多かった。薬剤耐性菌別の男女比は、MRSA では 1.7:1、PRSP では 2.0 : 1、MDRP では 2.3 : 1、CRE では 1.9 : 1 であった。

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳

新規感染症患者の年齢分布は、70 歳以上が全体の 75.4%を占めていた。薬剤耐性菌別では、MRSA、VRE、PRSP、MDRP、CRE はいずれも 70 歳代以上が多かったものの、PRSP では 23.5%が 10 歳未満であった。

5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳

新規感染症患者において該当する薬剤耐性菌が分離された検体は、呼吸器系検体が 40.3%と最も多くを占め、中でも PRSP は 77.0% が呼吸器系検体であった。同様に MDRP と MRSA も 45.3%、40.2% と呼吸器系検体が最も多かった。CRE では血液検体が 25.8% を占めており、次に呼吸器系検体で 23.6% を占めていた。

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳

新規感染症患者の感染症名は、肺炎が最も多く 36.1% を占めた。中でも PRSP では肺炎が 71.7%、肺炎以外の呼吸器感染症が 4.3% であった。MRSA では肺炎が 36.0% と最も多く、次いで菌血症 23.6%、皮膚・軟部組織感染 15.8% の順で報告された。MDRP では肺炎が 39.6% と最も多く、次いで尿路感染症が 22.6% であった。CRE では菌血症が 24.6% と最も多く、次いで尿路感染症が 24.1%、肺炎 22.7% の順で報告された。

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

新規感染症患者の診療科別割合は、内科系 48.6%、外科系 37.8%、小児科系 2.3% であった。耐性菌別では、MRSA は内科系 48.7%、外科系 38.2%、MDRP は内科系 58.5%、外科系 28.3%、PRSP は内科系 46.1%、次いで小児科系 23.0%、外科系は 17.0% であった。CRE は内科系 45.5%、外科系 38.6%、その他診療科 15.4% であった。（その他の診療科の内訳については、巻末資料「資料 2」を参照のこと）

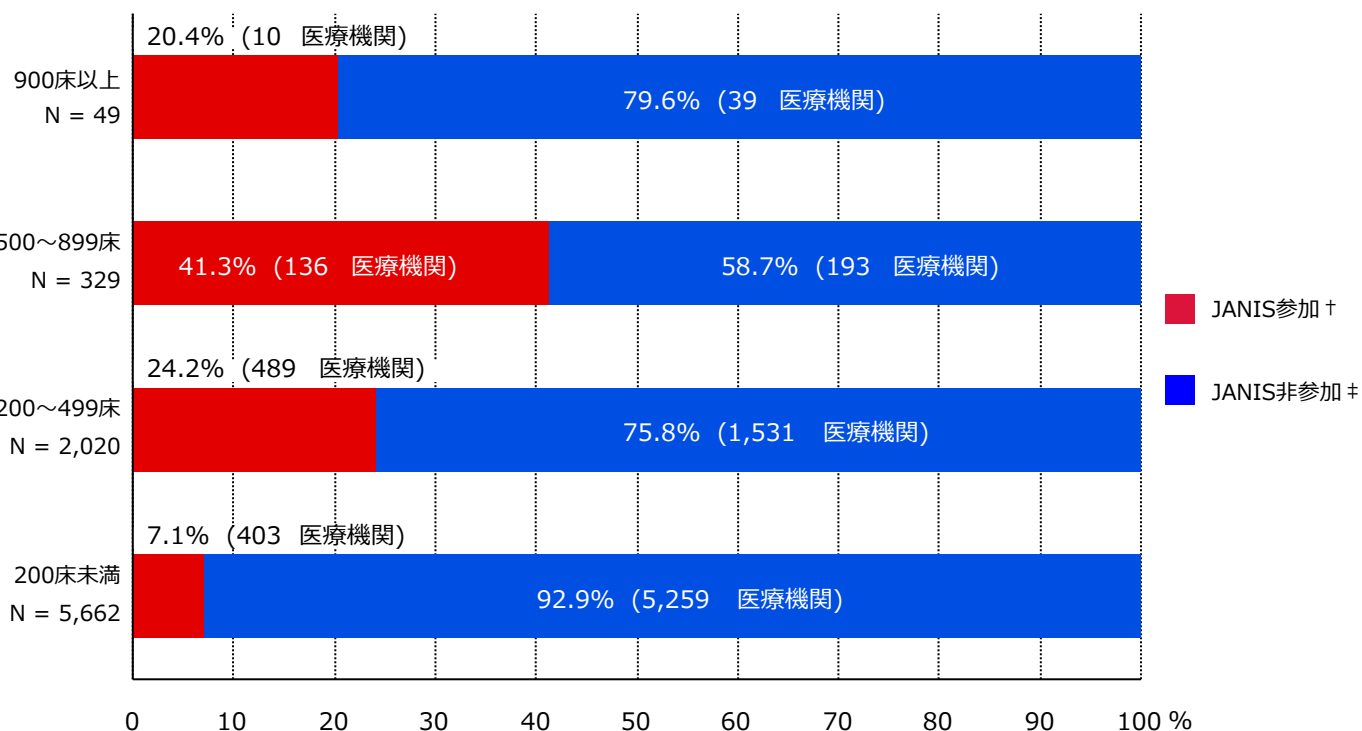
2025 年 1 月～12 月のうち、ひと月でもデータが未提出の 49 医療機関は集計対象外とした。

下記の基準に該当する医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 19 医療機関についても集計から除外した。

疑義データ および 集計対象外医療機関の条件

- 19 床以下の有床診療所の報告
- 年間を通じて MRSA 感染症患者の報告がない
- VRSA、VRE、MDRA 感染症の報告が年間 1 件以上ある
- MRSA、MDRP、PRSP、CRE 感染症の罹患率が高く逸脱している（極値）

1. データ提出医療機関*数 (1,038医療機関)



* ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2025年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2024年 全国医療機関数¶) - (2025年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2024年 全国医療機関数¶	2025年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	49	10 (20.4%)
500～899床	329	136 (41.3%)
200～499床	2,020	489 (24.2%)
200床未満	5,662	403 (7.1%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	8,060	1,038 (12.9%)

¶ 2024年医療施設(動態)調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	1,016	5,740,981	244	15,939	2.78%	0.00 2.52 106.67
2024年	1,018	5,889,025	253	15,665	2.66%	0.00 2.50 69.50
2025年	1,038	6,034,750	274	16,004	2.65%	0.00 2.42 134.45

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	1,016	5,740,981	0	22	0.00%	0.00 0.00 1.31
2024年	1,018	5,889,025	0	36	0.01%	0.00 0.00 1.74
2025年	1,038	6,034,750	0	19	0.00%	0.00 0.00 3.76

2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
2023年	1,016	5,740,981	0	326	0.06%	0.00 0.00 29.63
2024年	1,018	5,889,025	1	334	0.06%	0.00 0.00 14.93
2025年	1,038	6,034,750	0	230	0.04%	0.00 0.00 7.43

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
2023年	1,016	5,740,981	2	75	0.01%	0.00 0.00 6.67
2024年	1,018	5,889,025	0	68	0.01%	0.00 0.00 5.15
2025年	1,038	6,034,750	0	53	0.01%	0.00 0.00 3.30

2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	1,016	5,740,981	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.06
2024年	1,018	5,889,025	0	1	0.00%	0.00 0.00 1.96
2025年	1,038	6,034,750	0	2	0.00%	0.00 0.00 0.12

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	1,016	5,740,981	3	633	0.11%	0.00 0.00 4.13
2024年	1,018	5,889,025	2	653	0.11%	0.00 0.00 4.32
2025年	1,038	6,034,750	8	415	0.07%	0.00 0.00 5.46

2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

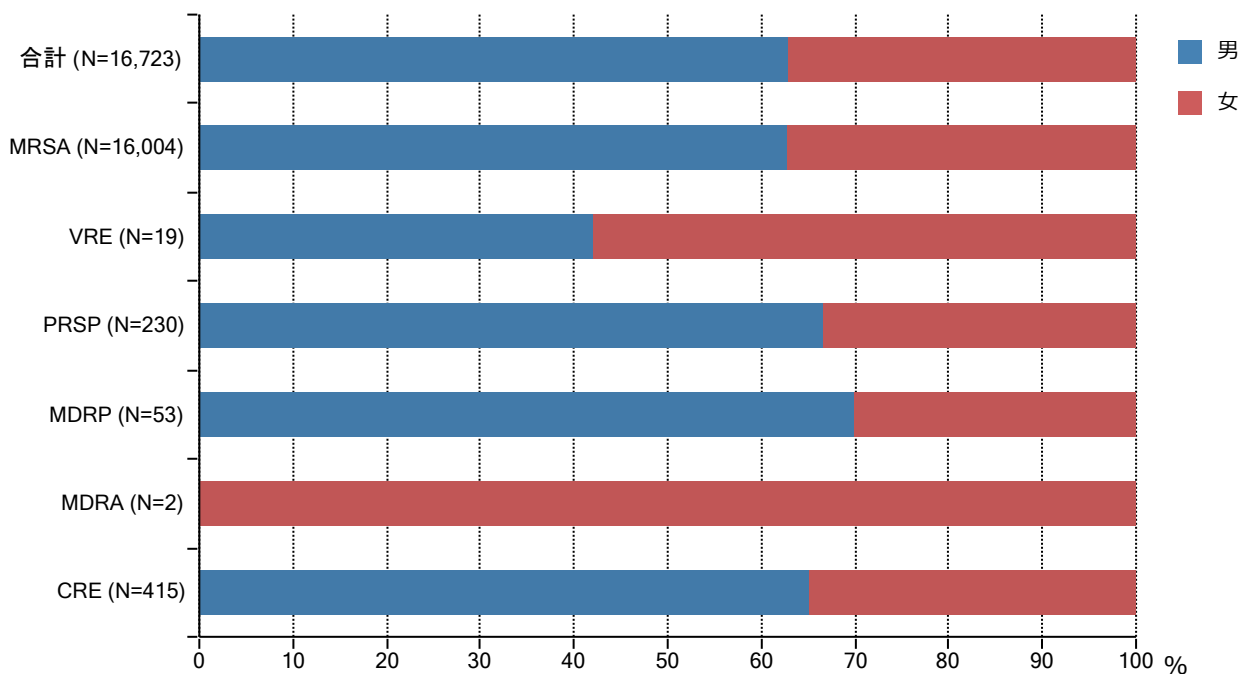
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

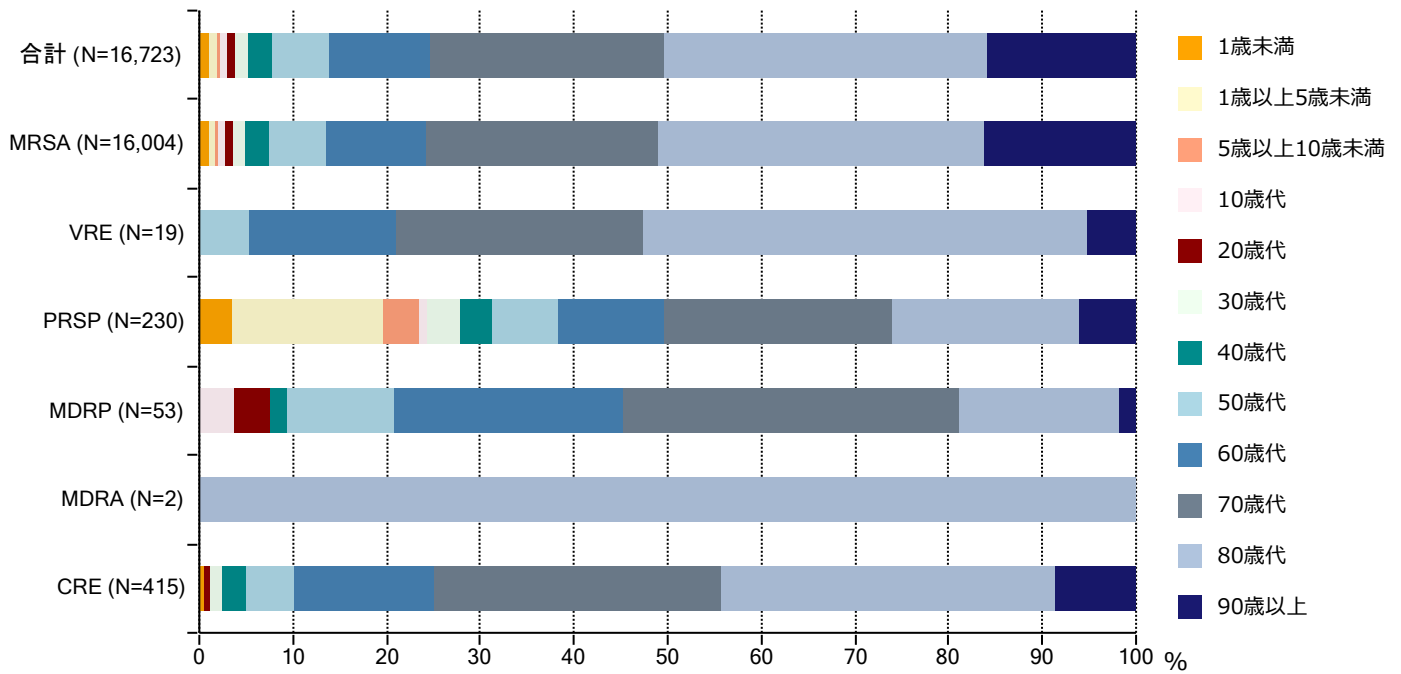
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



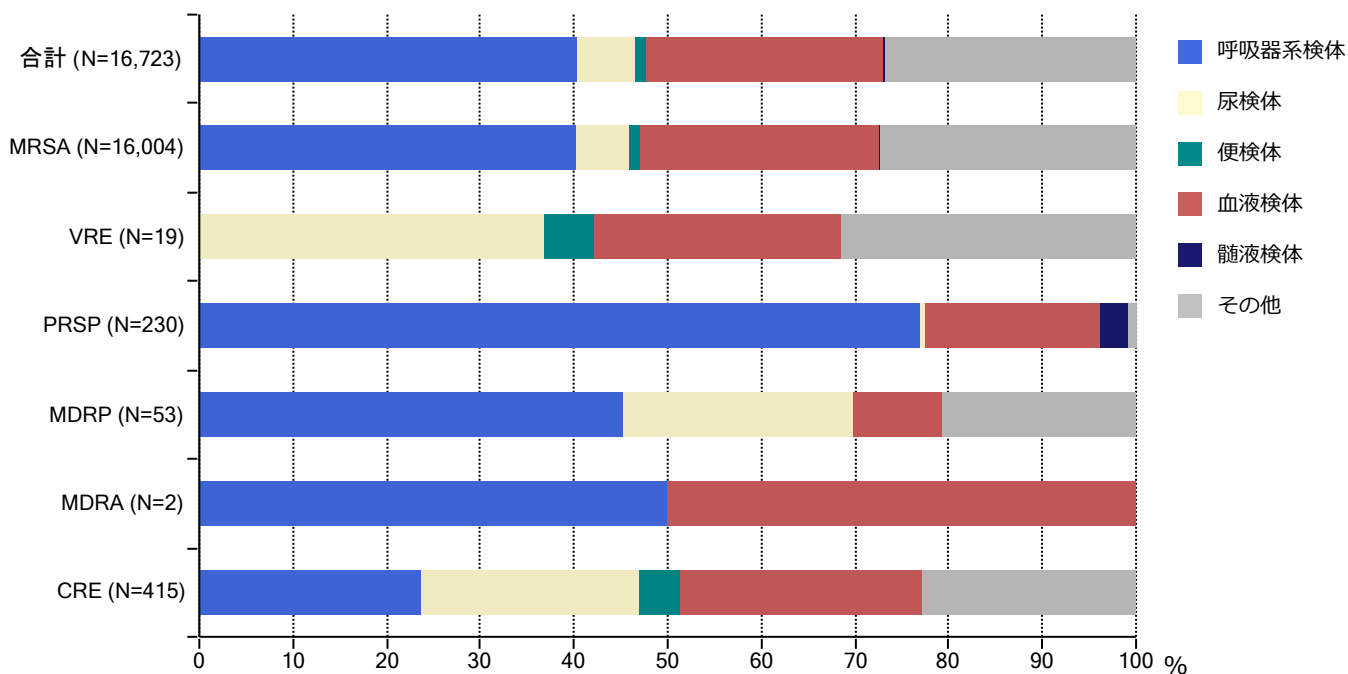
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	10,498 (62.8%)	10,030 (62.7%)	0 (-)	8 (42.1%)	153 (66.5%)	37 (69.8%)	0 (0.0%)	270 (65.1%)
女	6,225 (37.2%)	5,974 (37.3%)	0 (-)	11 (57.9%)	77 (33.5%)	16 (30.2%)	2 (100.0%)	145 (34.9%)
合計	16,723	16,004	0	19	230	53	2	415

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	172 (1.0%)	162 (1.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	8 (3.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)
1歳以上5歳未満	146 (0.9%)	109 (0.7%)	0 (-)	0 (0.0%)	37 (16.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5歳以上10歳未満	60 (0.4%)	51 (0.3%)	0 (-)	0 (0.0%)	9 (3.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
10歳代	120 (0.7%)	116 (0.7%)	0 (-)	0 (0.0%)	2 (0.9%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20歳代	148 (0.9%)	143 (0.9%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)	3 (0.7%)
30歳代	221 (1.3%)	208 (1.3%)	0 (-)	0 (0.0%)	8 (3.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (1.2%)
40歳代	433 (2.6%)	413 (2.6%)	0 (-)	0 (0.0%)	8 (3.5%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	11 (2.7%)
50歳代	1,019 (6.1%)	975 (6.1%)	0 (-)	1 (5.3%)	16 (7.0%)	6 (11.3%)	0 (0.0%)	21 (5.1%)
60歳代	1,801 (10.8%)	1,697 (10.6%)	0 (-)	3 (15.8%)	26 (11.3%)	13 (24.5%)	0 (0.0%)	62 (14.9%)
70歳代	4,167 (24.9%)	3,960 (24.7%)	0 (-)	5 (26.3%)	56 (24.3%)	19 (35.8%)	0 (0.0%)	127 (30.6%)
80歳代	5,770 (34.5%)	5,556 (34.7%)	0 (-)	9 (47.4%)	46 (20.0%)	9 (17.0%)	2 (100.0%)	148 (35.7%)
90歳代以上	2,666 (15.9%)	2,614 (16.3%)	0 (-)	1 (5.3%)	14 (6.1%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	36 (8.7%)
合計	16,723	16,004	0	19	230	53	2	415

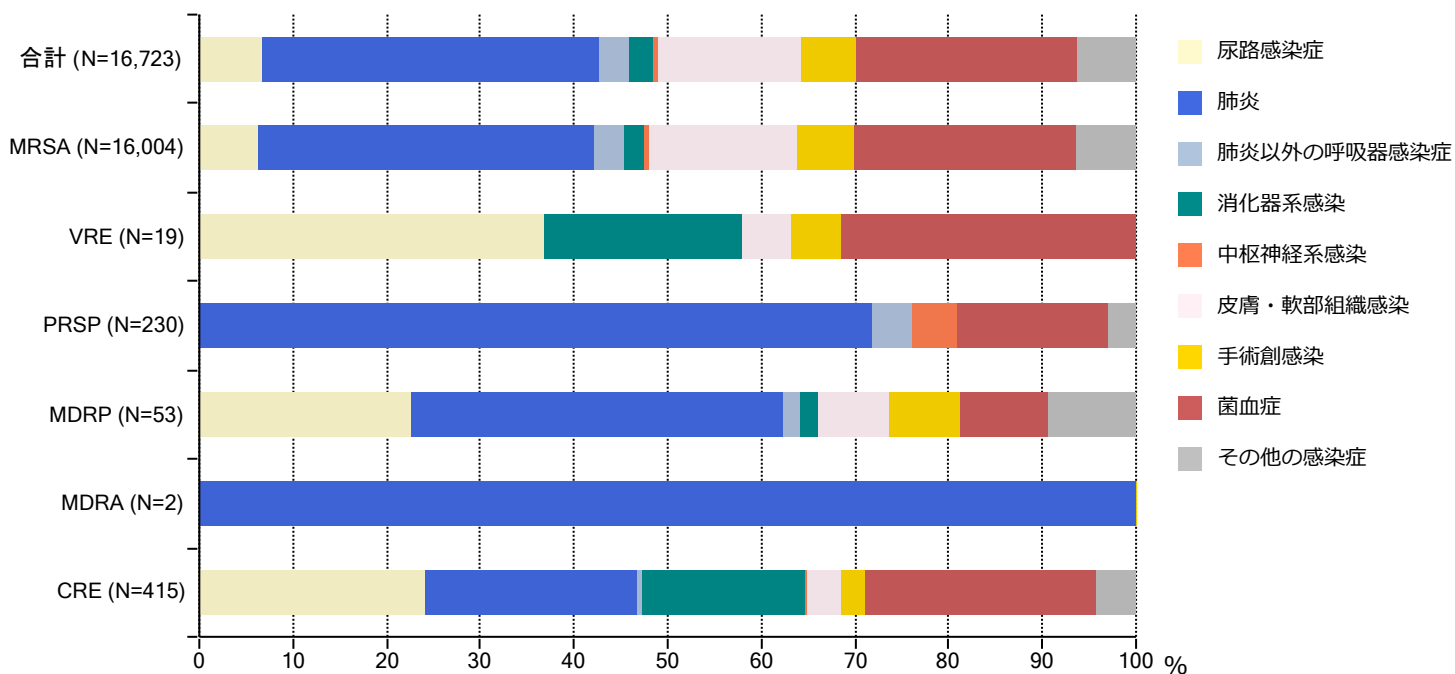
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	6,736 (40.3%)	6,436 (40.2%)	0 (-)	0 (0.0%)	177 (77.0%)	24 (45.3%)	1 (50.0%)	98 (23.6%)
尿検体	1,034 (6.2%)	916 (5.7%)	0 (-)	7 (36.8%)	1 (0.4%)	13 (24.5%)	0 (0.0%)	97 (23.4%)
便検体	192 (1.1%)	173 (1.1%)	0 (-)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (4.3%)
血液検体	4,234 (25.3%)	4,073 (25.4%)	0 (-)	5 (26.3%)	43 (18.7%)	5 (9.4%)	1 (50.0%)	107 (25.8%)
髄液検体	42 (0.3%)	35 (0.2%)	0 (-)	0 (0.0%)	7 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	4,485 (26.8%)	4,371 (27.3%)	0 (-)	6 (31.6%)	2 (0.9%)	11 (20.8%)	0 (0.0%)	95 (22.9%)
合計	16,723	16,004	0	19	230	53	2	415

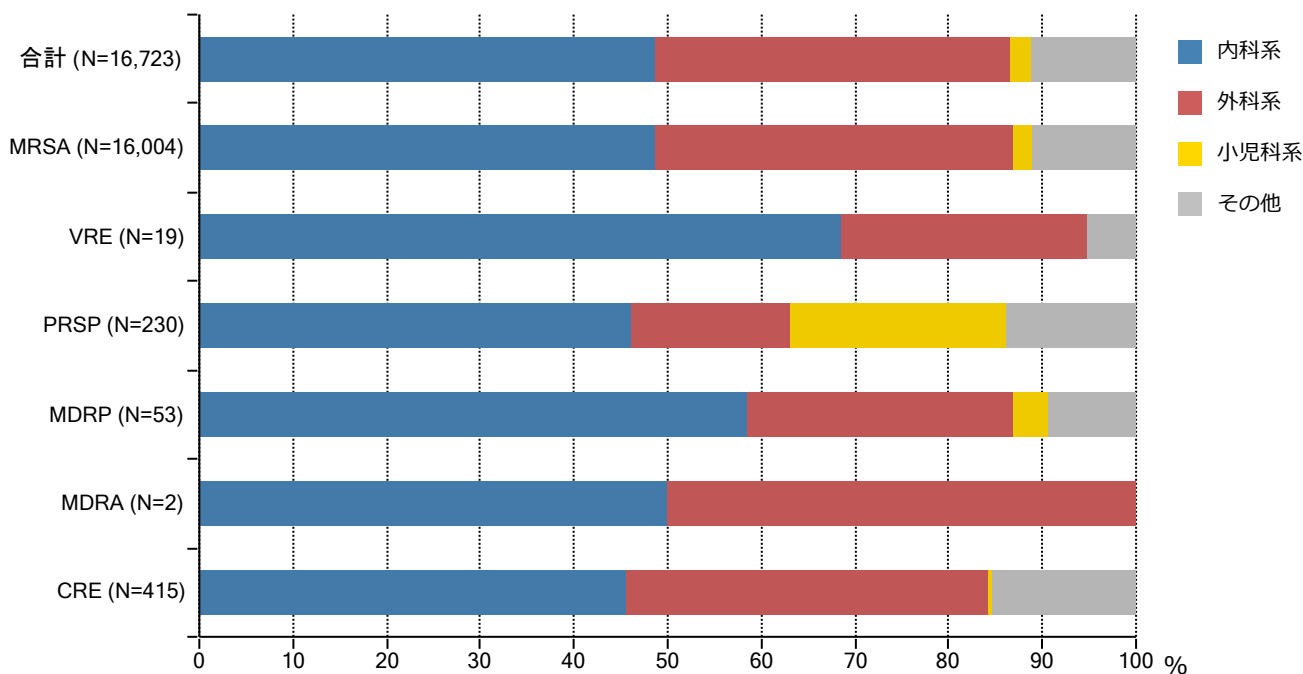
* 検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	1,115 (6.7%)	996 (6.2%)	0 (-)	7 (36.8%)	0 (0.0%)	12 (22.6%)	0 (0.0%)	100 (24.1%)
肺炎	6,036 (36.1%)	5,754 (36.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	165 (71.7%)	21 (39.6%)	2 (100.0%)	94 (22.7%)
肺炎以外	519 (3.1%)	506 (3.2%)	0 (-)	0 (0.0%)	10 (4.3%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)
消化器系	428 (2.6%)	351 (2.2%)	0 (-)	4 (21.1%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	72 (17.3%)
中枢神経系	87 (0.5%)	75 (0.5%)	0 (-)	0 (0.0%)	11 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
皮膚・軟部	2,547 (15.2%)	2,527 (15.8%)	0 (-)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	4 (7.5%)	0 (0.0%)	15 (3.6%)
手術創	991 (5.9%)	975 (6.1%)	0 (-)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	4 (7.5%)	0 (0.0%)	11 (2.7%)
菌血症	3,932 (23.5%)	3,782 (23.6%)	0 (-)	6 (31.6%)	37 (16.1%)	5 (9.4%)	0 (0.0%)	102 (24.6%)
その他	1,068 (6.4%)	1,038 (6.5%)	0 (-)	0 (0.0%)	7 (3.0%)	5 (9.4%)	0 (0.0%)	18 (4.3%)
合計	16,723	16,004	0	19	230	53	2	415

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	8,130 (48.6%)	7,790 (48.7%)	0 (-)	13 (68.4%)	106 (46.1%)	31 (58.5%)	1 (50.0%)	189 (45.5%)
外科系	6,327 (37.8%)	6,107 (38.2%)	0 (-)	5 (26.3%)	39 (17.0%)	15 (28.3%)	1 (50.0%)	160 (38.6%)
小児科系	379 (2.3%)	322 (2.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	53 (23.0%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)
その他	1,887 (11.3%)	1,785 (11.2%)	0 (-)	1 (5.3%)	32 (13.9%)	5 (9.4%)	0 (0.0%)	64 (15.4%)
合計	16,723	16,004	0	19	230	53	2	415

* 診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内探痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膺分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料2

内科系	内科	
	循環器内科	
	神経内科	
	呼吸器内科	
	消化器内科	
	胃腸科	
	内分泌・代謝内科	
	腎臓内科	
	糖尿病内科	
	アレルギー・膠原病内科	
	膠原病内科	
	アレルギー内科	
	リウマチ内科	
	血液内科	
	感染症内科	
	老人内科	
	心療内科	
	その他	性病科
		神経科
		精神科
放射線科		
総合診療部		
救急部		
救急・集中治療部		
集中治療部(ICU)		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		
内視鏡科		
透析科		
理学療法・リハビリテーション科		
理学療法科		
リハビリテーション科		
麻酔科		
その他		

外科系	外科	
	消化器外科	
	肛門科	
	肝胆膵外科	
	心臓血管外科	
	内分泌外科	
	呼吸器外科	
	小児外科	
	小児循環器外科	
	小児消化器外科	
	産婦人科	
	産科	
	婦人科	
	整形外科	
	美容外科	
	眼科	
	耳鼻咽喉科	
	気管食道科	
	泌尿器科	
	皮膚・泌尿器科	
	皮膚科	
	脳神経外科	
	形成外科	
	歯科口腔外科	
	歯科	
	小児歯科	
	矯正歯科	
	口腔外科	
	手術部	
	移植・人口臓器科	
	小児科系	小児科
		新生児科
		新生児集中治療部(NICU)
周産期センター		

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.4.0)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/mL* または CFX \geq 8 μ g/mL*	CFX \leq 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・VCM が微量液体希釈法で耐性† ・VCM がディスク拡散法で "R" ・選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/mL†	VCM \leq 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性† の <i>Streptococcus pneumoniae</i> 注) 無菌検体とは以下に該当する検査材料コードを示す 401 (静脈血)、402 (動脈血)、403 (髄液)、404 (胸水)、405 (腹水)、406 (関節液)、407 (骨髄液)、408 (心嚢水)	1131	無菌検体 PCG \geq 0.125 μ g/mL†	
			無菌検体以外 PCG \geq 4 μ g/mL†	
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† NFLX \geq 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX \geq 8mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm* NFLX・OFLX \leq 12mm* LVFX \leq 13mm* LFLX \leq 18mm* CPFX \leq 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で "R" ・フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† LVFX \geq 8 μ g/mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm† LVFX \leq 13mm* CPFX \leq 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	MEPM が耐性† の腸内細菌目細菌	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/mL†	MEPM \leq 22mm†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22) に準拠

† 感染症発生動向調査 (2025年4月7日施行) の基準に準拠

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/mL* または CFX \geq 8 μ g/mL*	MPIPC \leq 10mm† CFX \leq 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/mL†	VCM \leq 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/mL†	MPIPC \leq 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† NFLX \geq 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX \geq 8mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm* NFLX・OFLX \leq 12mm* LVFX \leq 13mm* LFLX \leq 18mm* CPFX \leq 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† LVFX \geq 8 μ g/mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm† LVFX \leq 13mm* CPFX \leq 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/mL† IPM \geq 2 μ g/mL†かつ CMZ \geq 64 μ g/mL*†	MEPM \leq 22mm† IPM \leq 22mm† かつ CMZ \leq 12mm*†

* S,I,Rの判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査 (2023年5月26日施行) の基準に準拠

【全入院患者部門サーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、全入院患者を対象として主要な薬剤耐性菌による感染症患者の発生率に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における薬剤耐性菌感染症の発生状況を明らかにすることである。

我が国において主要な薬剤耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)、多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE) の 7 種の薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数および罹患率を算出する。

薬剤耐性菌は、巻末資料の判定基準に準じて各医療機関が判定しており、感染症の判定は原則以下の 1. または 2. に該当した場合とする。

1. 主治医 (担当医) 以外のサーベイランス担当医、感染症専門医 (あるいは感染制御チーム等) が「感染症」と診断した場合。
2. MRSA が分離された患者の場合は、感染部位の炎症所見あるいは全身性の炎症マーカーが陽性で、抗 MRSA 薬が投与されている場合。

また、性別、年齢別、検体別、感染症名別、診療科別の集計も行い、医療機関の薬剤耐性菌による感染症発症状況のベンチマークとなる情報を提供する。

【公開情報の一部改訂について】

2025 年 4 月 7 日付で感染症法に基づく届出基準が一部改正されたことに伴い、2025 年 10 月 1 日より JANIS の「薬剤耐性菌 判定基準」を「Ver.3.3」から「Ver.4.0」に更新した。

JANIS 全入院患者部門における感染症の判定は、判定時点での感染症法および JANIS の「薬剤耐性菌 判定基準」に基づき、上記の通り各医療機関が実施しており、当年報における感染症患者数は医療機関から報告された結果を集計している。

「薬剤耐性菌 判定基準」については、巻末資料参照のこと。

【図表】

1. データ提出医療機関*数
2. 新規感染症患者数と罹患率
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳
4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳
5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳
6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳
7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

【解説】

1. データ提出医療機関数

病床規模が 200 床以上の 2025 年年報 (2025 年 1 月～12 月) 集計対象医療機関数は 635 施設であり、前年より 1 施設減少した。これは国内の 200 床以上の医療機関 2,398 施設の 26.5%を占めていた。

2. 新規感染症患者数と罹患率

総入院患者数は 5,295,999 人であり、前年より 83,657 人増加 (1.6%増) した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少していた総入院患者数は 2022 年から増加傾向にあるが、2025 年の総入院患者数は 2019 年の 5,398,819 人と比べると 102,820 人少ない。

対象とする薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数の合計は 13,757 人 (前年に比べて 164 人の減少) であった。このうち MRSA は 13,085 人 (95.1%) を占め、次いで CRE 396 人 (2.9%)、PRSP 216 人 (1.6%)、MDRP 43 人 (0.3%)、VRE 15 人 (0.1%)、MDRA 2 人 (0.01%) であった。

新規感染症発症患者数が前年に比べて増加したのは MRSA と MDRA であり、MRSA は 183 人増加 (1.4%増) した。MDRA は前年の 1 人から 2 人となった。他の薬剤耐性菌については、CRE 226 人減 (36.3%減)、PRSP 85 人減 (28.2%減)、VRE 19 人減 (55.9%減) であった。

CRE と PRSP の患者数の減少は、2025 年 4 月 7 日付で感染症法に基づく届出基準が改正された影響を受けていると考えられる。

各薬剤耐性菌の新規感染症患者数を分子、(総入院患者数-継続感染症患者数) を分母とした罹患率は、MRSA では 2.47 %、CRE 0.07%、PRSP 0.04%、MDRP 0.01%であった。

なお、VRSA による感染症の報告はなかった。

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

新規感染症患者の合計は、女性よりも男性の方が多かった。薬剤耐性菌別の男女比は、MRSA では 1.7:1、PRSP および CRE では 1.9:1、MDRP では 2.3:1 であった。

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳

新規感染症患者の年齢分布は 70 歳代以上が全体の 72.6%を占めていた。薬剤耐性菌別では MRSA、VRE、PRSP、MDRP、CRE はいずれも 70 歳代以上が多かったものの、PRSP では 25.0%が 10 歳未満であった。

5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳

新規感染症患者において該当する薬剤耐性菌が分離された検体は、呼吸器系検体が 36.1%と最も多くを占め、中でも PRSP は 75.9%が呼吸器系検体であった。MRSA、MDRP でも同様に呼吸器系検体が 35.9%、48.8%と最も多かった。CRE では血液検体が 26.3%を占めていたが、次いでその他の検体が 23.7%を占めていた。(その他の検体の内訳については、巻末資料「資料 1」を参照のこと)

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳

新規感染症患者の感染症名は肺炎が最も多く 32.4%を占めた。中でも PRSP では肺炎が 70.8%、肺炎以外の呼吸器感染症が 4.6%であった。MRSA では肺炎が 32.1%と最も多く、次いで菌血症 26.0%、皮膚・軟部組織感染 17.1%、手術創感染 6.8%の順で報告された。MDRP では肺炎が 41.9%と最も多く、次いで尿路感染症が 18.6%であった。CRE では菌血症が 25.3%と最も多く、次いで尿路感染症が 24.0%、肺炎 21.7%であった。

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

新規感染症患者の診療科別割合は、内科系 45.1%、外科系 40.3%、小児科系 2.7%であった。耐性菌別では、MRSA は内科系 45.1%、外科系 40.7%、MDRP は内科系 53.5%、外科系 32.6%、PRSP は内科系 44.0%、次いで小児科系 24.5%、外科系 17.6%であった。CRE は内科系 44.9%、外科系 39.6%であった。

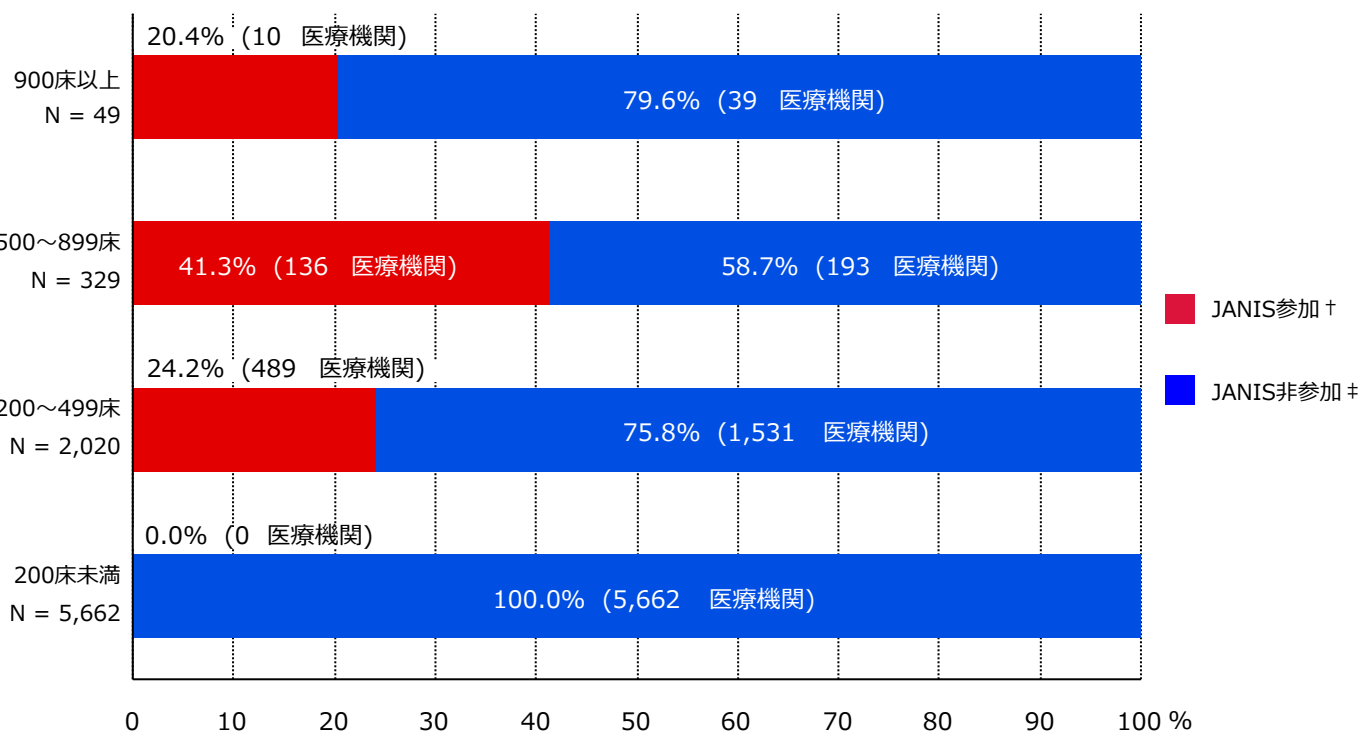
2025 年 1 月～12 月のうち、ひと月でもデータが未提出の 16 医療機関は集計対象外とした。

下記の基準に該当する医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 4 医療機関についても集計から除外した。

疑義データ および 集計対象外医療機関の条件

- 19 床以下の有床診療所の報告。
- 年間を通じて MRSA 感染症患者の報告がない。
- VRSA、VRE、MDRA 感染症の報告が年間 1 件以上ある。
- MRSA、MDRP、PRSP、CRE 感染症の罹患率が高く逸脱している(極値)。

1. データ提出医療機関*数 (635医療機関)



* ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2025年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2024年 全国医療機関数¶) - (2025年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2024年 全国医療機関数¶	2025年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	49	10 (20.4%)
500～899床	329	136 (41.3%)
200～499床	2,020	489 (24.2%)
200床未満	5,662	0 (0.0%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	8,060	635 (7.9%)

¶ 2024年医療施設(動態)調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	646	5,098,875	189	13,277	2.60%	0.00 2.28
2024年	636	5,212,342	188	12,902	2.48%	0.00 2.18
2025年	635	5,295,999	213	13,085	2.47%	0.00 2.19

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	646	5,098,875	0	15	0.00%	0.00 0.00
2024年	636	5,212,342	0	34	0.01%	0.00 0.00
2025年	635	5,295,999	0	15	0.00%	0.00 0.00

2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	646	5,098,875	0	294	0.06%	0.00 0.00 1.60
2024年	636	5,212,342	1	301	0.06%	0.00 0.00 1.96
2025年	635	5,295,999	0	216	0.04%	0.00 0.00 7.43

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	646	5,098,875	1	63	0.01%	0.00 0.00 1.41
2024年	636	5,212,342	0	61	0.01%	0.00 0.00 3.10
2025年	635	5,295,999	0	43	0.01%	0.00 0.00 2.20

2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	646	5,098,875	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.06
2024年	636	5,212,342	0	1	0.00%	0.00 0.00 1.96
2025年	635	5,295,999	0	2	0.00%	0.00 0.00 0.12

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	646	5,098,875	2	606	0.12%	0.00 0.00 4.13
2024年	636	5,212,342	1	622	0.12%	0.00 0.00 4.32
2025年	635	5,295,999	7	396	0.07%	0.00 0.00 5.46

2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

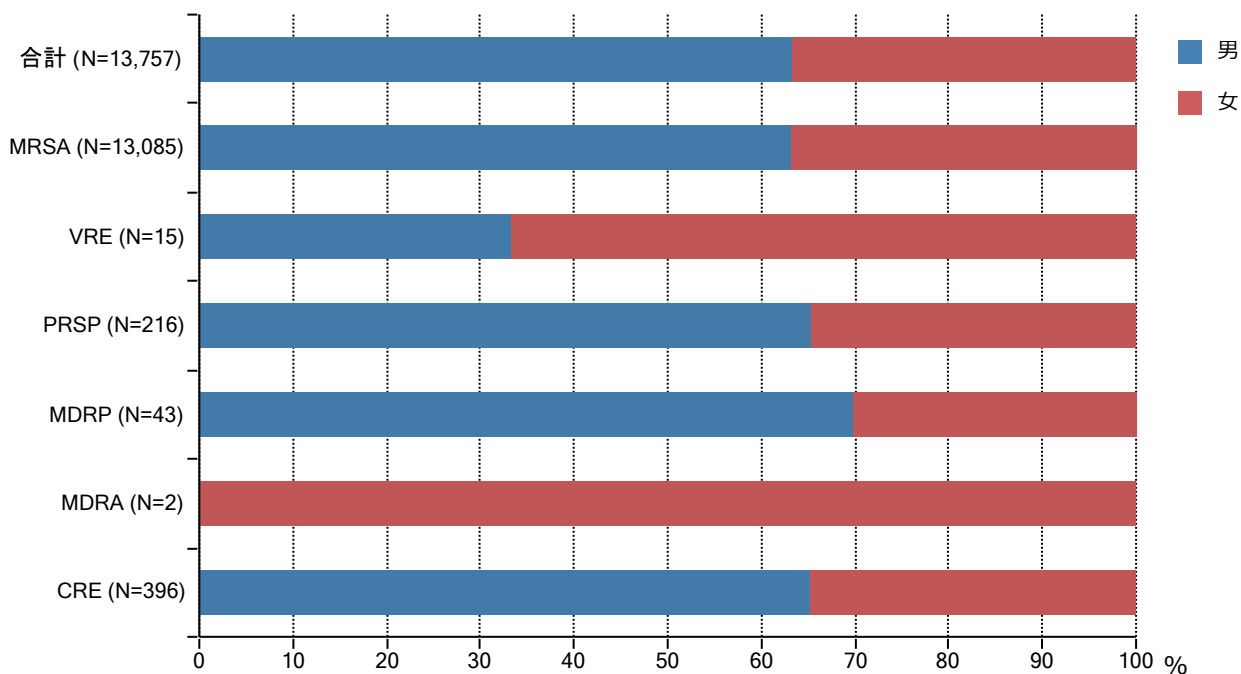
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

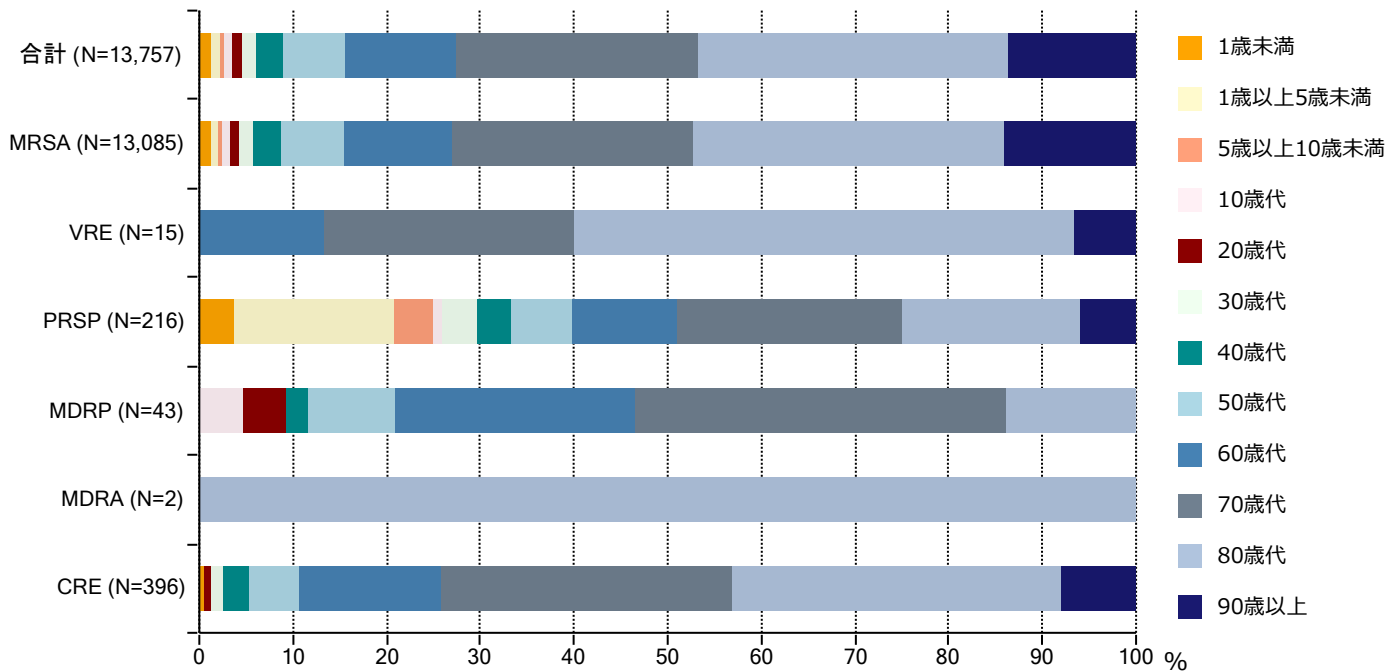
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



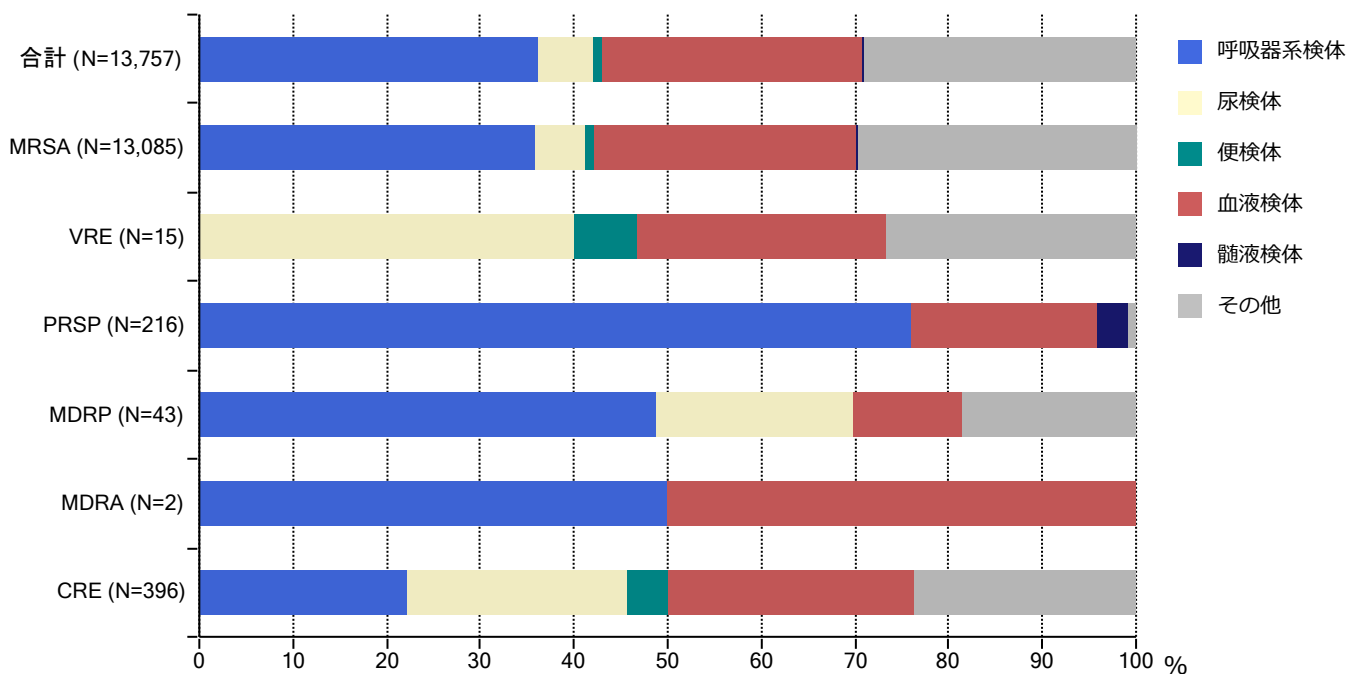
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	8,699 (63.2%)	8,265 (63.2%)	0 (-)	5 (33.3%)	141 (65.3%)	30 (69.8%)	0 (0.0%)	258 (65.2%)
女	5,058 (36.8%)	4,820 (36.8%)	0 (-)	10 (66.7%)	75 (34.7%)	13 (30.2%)	2 (100.0%)	138 (34.8%)
合計	13,757	13,085	0	15	216	43	2	396

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	168 (1.2%)	158 (1.2%)	0 (-)	0 (0.0%)	8 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)
1歳以上5歳未満	143 (1.0%)	106 (0.8%)	0 (-)	0 (0.0%)	37 (17.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5歳以上10歳未満	59 (0.4%)	50 (0.4%)	0 (-)	0 (0.0%)	9 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
10歳代	113 (0.8%)	109 (0.8%)	0 (-)	0 (0.0%)	2 (0.9%)	2 (4.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20歳代	142 (1.0%)	137 (1.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.7%)	0 (0.0%)	3 (0.8%)
30歳代	205 (1.5%)	192 (1.5%)	0 (-)	0 (0.0%)	8 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (1.3%)
40歳代	404 (2.9%)	384 (2.9%)	0 (-)	0 (0.0%)	8 (3.7%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	11 (2.8%)
50歳代	918 (6.7%)	879 (6.7%)	0 (-)	0 (0.0%)	14 (6.5%)	4 (9.3%)	0 (0.0%)	21 (5.3%)
60歳代	1,618 (11.8%)	1,521 (11.6%)	0 (-)	2 (13.3%)	24 (11.1%)	11 (25.6%)	0 (0.0%)	60 (15.2%)
70歳代	3,551 (25.8%)	3,355 (25.6%)	0 (-)	4 (26.7%)	52 (24.1%)	17 (39.5%)	0 (0.0%)	123 (31.1%)
80歳代	4,545 (33.0%)	4,349 (33.2%)	0 (-)	8 (53.3%)	41 (19.0%)	6 (14.0%)	2 (100.0%)	139 (35.1%)
90歳代以上	1,891 (13.7%)	1,845 (14.1%)	0 (-)	1 (6.7%)	13 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	32 (8.1%)
合計	13,757	13,085	0	15	216	43	2	396

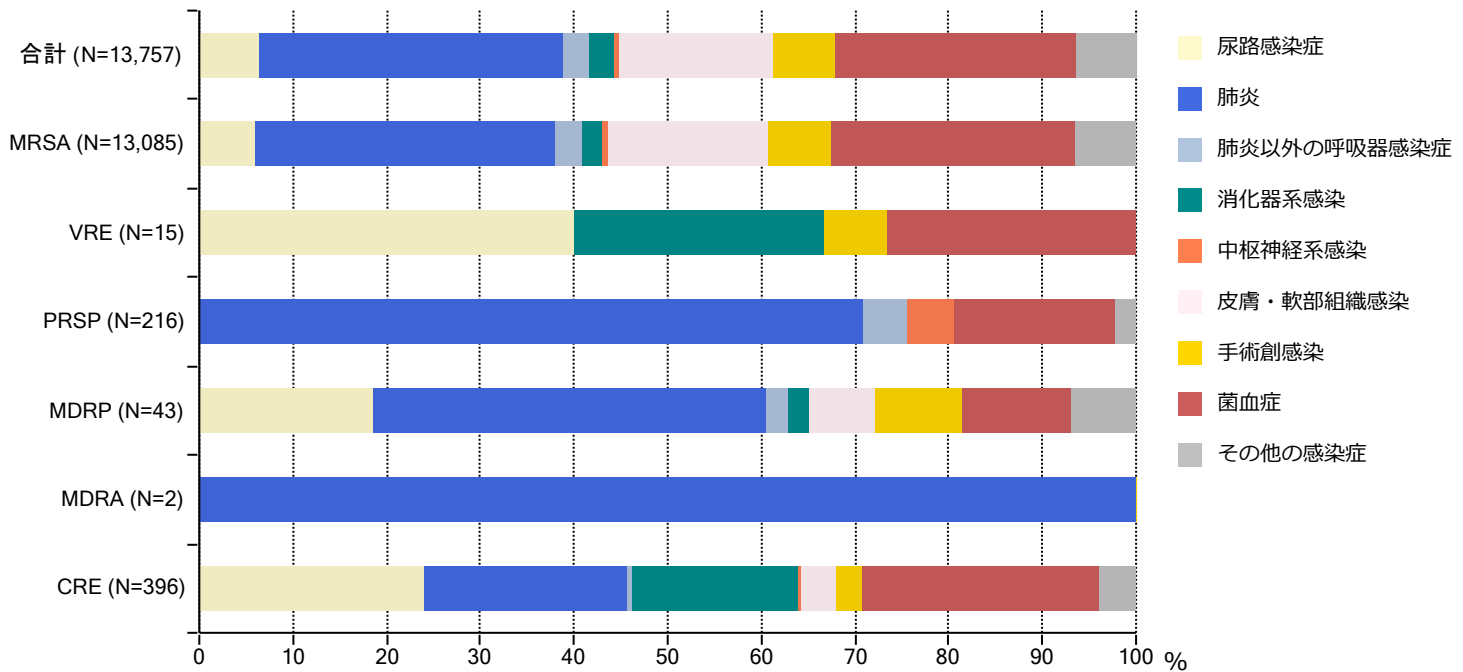
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	4,970 (36.1%)	4,696 (35.9%)	0 (-)	0 (0.0%)	164 (75.9%)	21 (48.8%)	1 (50.0%)	88 (22.2%)
尿検体	807 (5.9%)	699 (5.3%)	0 (-)	6 (40.0%)	0 (0.0%)	9 (20.9%)	0 (0.0%)	93 (23.5%)
便検体	139 (1.0%)	121 (0.9%)	0 (-)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (4.3%)
血液検体	3,808 (27.7%)	3,651 (27.9%)	0 (-)	4 (26.7%)	43 (19.9%)	5 (11.6%)	1 (50.0%)	104 (26.3%)
髄液検体	40 (0.3%)	33 (0.3%)	0 (-)	0 (0.0%)	7 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	3,993 (29.0%)	3,885 (29.7%)	0 (-)	4 (26.7%)	2 (0.9%)	8 (18.6%)	0 (0.0%)	94 (23.7%)
合計	13,757	13,085	0	15	216	43	2	396

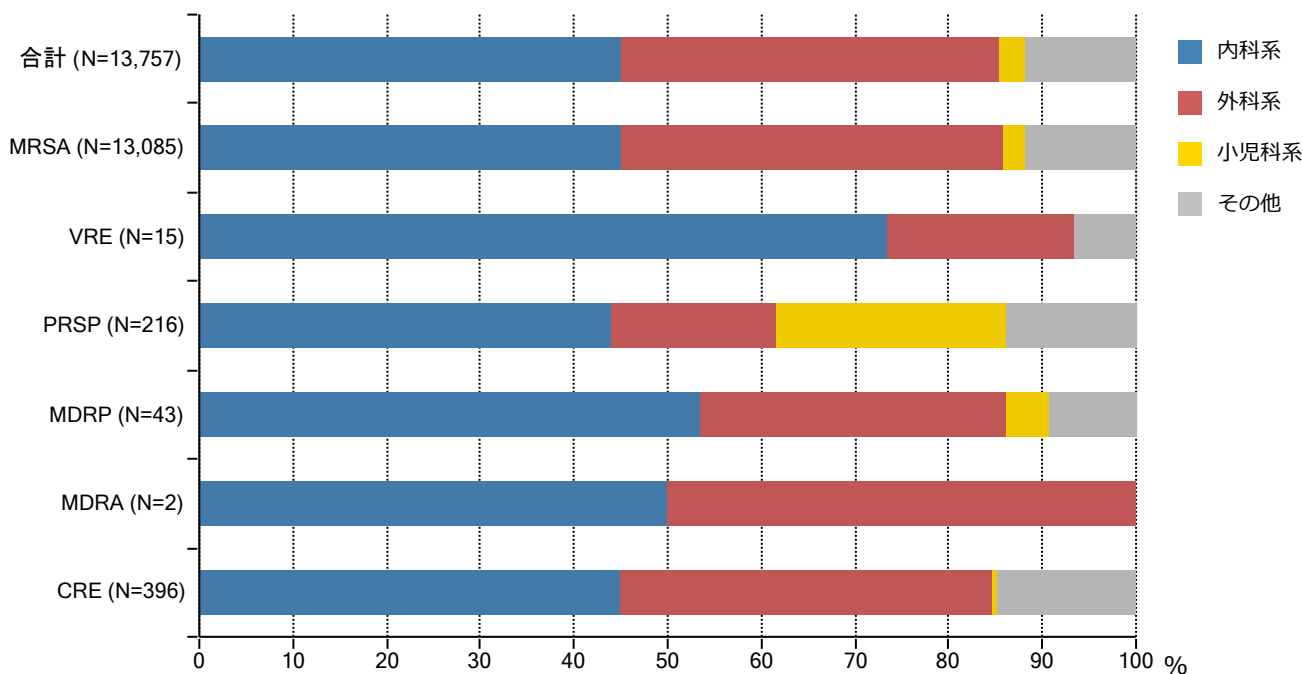
* 検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	884 (6.4%)	775 (5.9%)	0 (-)	6 (40.0%)	0 (0.0%)	8 (18.6%)	0 (0.0%)	95 (24.0%)
肺炎	4,460 (32.4%)	4,201 (32.1%)	0 (-)	0 (0.0%)	153 (70.8%)	18 (41.9%)	2 (100.0%)	86 (21.7%)
肺炎以外	379 (2.8%)	366 (2.8%)	0 (-)	0 (0.0%)	10 (4.6%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)
消化器系	365 (2.7%)	290 (2.2%)	0 (-)	4 (26.7%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	70 (17.7%)
中枢神経系	82 (0.6%)	70 (0.5%)	0 (-)	0 (0.0%)	11 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
皮膚・軟部	2,252 (16.4%)	2,234 (17.1%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (7.0%)	0 (0.0%)	15 (3.8%)
手術創	902 (6.6%)	886 (6.8%)	0 (-)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	4 (9.3%)	0 (0.0%)	11 (2.8%)
菌血症	3,549 (25.8%)	3,403 (26.0%)	0 (-)	4 (26.7%)	37 (17.1%)	5 (11.6%)	0 (0.0%)	100 (25.3%)
その他	884 (6.4%)	860 (6.6%)	0 (-)	0 (0.0%)	5 (2.3%)	3 (7.0%)	0 (0.0%)	16 (4.0%)
合計	13,757	13,085	0	15	216	43	2	396

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	6,203 (45.1%)	5,895 (45.1%)	0 (-)	11 (73.3%)	95 (44.0%)	23 (53.5%)	1 (50.0%)	178 (44.9%)
外科系	5,538 (40.3%)	5,325 (40.7%)	0 (-)	3 (20.0%)	38 (17.6%)	14 (32.6%)	1 (50.0%)	157 (39.6%)
小児科系	372 (2.7%)	315 (2.4%)	0 (-)	0 (0.0%)	53 (24.5%)	2 (4.7%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)
その他	1,644 (12.0%)	1,550 (11.8%)	0 (-)	1 (6.7%)	30 (13.9%)	4 (9.3%)	0 (0.0%)	59 (14.9%)
合計	13,757	13,085	0	15	216	43	2	396

* 診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内探痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膺分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料2

内科系	内科	
	循環器内科	
	神経内科	
	呼吸器内科	
	消化器内科	
	胃腸科	
	内分泌・代謝内科	
	腎臓内科	
	糖尿病内科	
	アレルギー・膠原病内科	
	膠原病内科	
	アレルギー内科	
	リウマチ内科	
	血液内科	
	感染症内科	
	老人内科	
	心療内科	
	その他	性病科
		神経科
		精神科
放射線科		
総合診療部		
救急部		
救急・集中治療部		
集中治療部(ICU)		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		
内視鏡科		
透析科		
理学療法・リハビリテーション科		
理学療法科		
リハビリテーション科		
麻酔科		
その他		

外科系	外科	
	消化器外科	
	肛門科	
	肝胆膵外科	
	心臓血管外科	
	内分泌外科	
	呼吸器外科	
	小児外科	
	小児循環器外科	
	小児消化器外科	
	産婦人科	
	産科	
	婦人科	
	整形外科	
	美容外科	
	眼科	
	耳鼻咽喉科	
	気管食道科	
	泌尿器科	
	皮膚・泌尿器科	
	皮膚科	
	脳神経外科	
	形成外科	
	歯科口腔外科	
	歯科	
	小児歯科	
	矯正歯科	
	口腔外科	
	手術部	
	移植・人口臓器科	
	小児科系	小児科
		新生児科
新生児集中治療部(NICU)		
周産期センター		

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.4.0)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/mL* または CFX \geq 8 μ g/mL*	CFX \leq 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/mL†	VCM \leq 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性† の <i>Streptococcus pneumoniae</i> 注) 無菌検体とは以下に該当する検査材料コードを示す 401 (静脈血)、402 (動脈血)、403 (髄液)、404 (胸水)、405 (腹水)、406 (関節液)、407 (骨髄液)、408 (心嚢水)	1131	無菌検体 PCG \geq 0.125 μ g/mL†	
			無菌検体以外 PCG \geq 4 μ g/mL†	
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† NFLX \geq 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX \geq 8mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm* NFLX・OFLX \leq 12mm* LVFX \leq 13mm* LFLX \leq 18mm* CPFX \leq 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† LVFX \geq 8 μ g/mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm† LVFX \leq 13mm* CPFX \leq 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	MEPM が耐性† の腸内細菌目細菌	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/mL†	MEPM \leq 22mm†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22) に準拠

† 感染症発生動向調査 (2025年4月7日施行) の基準に準拠

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/mL* または CFX \geq 8 μ g/mL*	MPIPC \leq 10mm† CFX \leq 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/mL†	VCM \leq 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/mL†	MPIPC \leq 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† NFLX \geq 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX \geq 8mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm* NFLX・OFLX \leq 12mm* LVFX \leq 13mm* LFLX \leq 18mm* CPFX \leq 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† LVFX \geq 8 μ g/mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm† LVFX \leq 13mm* CPFX \leq 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/mL† IPM \geq 2 μ g/mL† かつ CMZ \geq 64 μ g/mL*†	MEPM \leq 22mm† IPM \leq 22mm† かつ CMZ \leq 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22) に準拠

† 感染症発生動向調査 (2023 年 5 月 26 日施行) の基準に準拠



【全入院患者部門サーベイランスの概要と目的】

本サーベイランスの目的は、全入院患者を対象として主要な薬剤耐性菌による感染症患者の発生率に関するデータを継続的に収集・解析し、医療機関における薬剤耐性菌感染症の発生状況を明らかにすることである。

我が国において主要な薬剤耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)、多剤耐性緑膿菌 (MDRP)、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)、多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE) の 7 種の薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数および罹患率を算出する。

薬剤耐性菌は、巻末資料の判定基準に準じて各医療機関が判定しており、感染症の判定は原則以下の 1. または 2. に該当した場合とする。

1. 主治医 (担当医) 以外のサーベイランス担当医、感染症専門医 (あるいは感染制御チーム等) が「感染症」と診断した場合。
2. MRSA が分離された患者の場合は、感染部位の炎症所見あるいは全身性の炎症マーカーが陽性で、抗 MRSA 薬が投与されている場合。

また、性別、年齢別、検体別、感染症名別、診療科別の集計も行い、医療機関の薬剤耐性菌による感染症発症状況のベンチマークとなる情報を提供する。

【公開情報の一部改訂について】

2025 年 4 月 7 日付で感染症法に基づく届出基準が一部改正されたことに伴い、2025 年 10 月 1 日より JANIS の「薬剤耐性菌 判定基準」を「Ver.3.3」から「Ver.4.0」に更新した。

JANIS 全入院患者部門における感染症の判定は、判定時点での感染症法および JANIS の「薬剤耐性菌 判定基準」に基づき、上記の通り各医療機関が実施しており、当年報における感染症患者数は医療機関から報告された結果を集計している。

「薬剤耐性菌 判定基準」については、巻末資料参照のこと。

【図表】

1. データ提出医療機関*数
2. 新規感染症患者数と罹患率
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳
4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳
5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳
6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳
7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

【解説】

1. データ提出医療機関数

病床規模が 200 床未満の 2025 年年報 (2025 年 1 月～12 月) 集計対象医療機関数は 403 施設であり、前年より 21 施設増加した。これは国内の 200 床未満の医療機関 5,662 施設の 7.1%を占めていた。

2. 新規感染症患者数と罹患率

総入院患者数は 738,751 人であり、前年より 62,068 人増加 (9.2%増) した。前年まで新型コロナウイルス感染拡大前の水準に回復しきれていない状況が続いたが、2025 年の総入院患者数はその水準を上回り、2019 年の総入院患者数 582,862 人と比べて 155,889 人の増加であった。

対象とする薬剤耐性菌による新規感染症発症患者数の合計は 2,966 人 (前年に比べて 130 人の増加) であった。このうち MRSA は 2,919 人 (98.4%) を占め、次いで CRE 19 人 (0.6%)、PRSP 14 人 (0.5%)、MDRP 10 人 (0.3%)、VRE 4 人 (0.1%) であった。

新規感染症発症患者数が前年に比べて減少したのは PRSP と CRE であり、PRSP 19 人減 (57.6%減)、CRE 12 人減 (38.7%減) であった。CRE と PRSP の患者数の減少は、2025 年 4 月 7 日付で感染症法に基づく届出基準が改正された影響を受けていると考えられる。

他の薬剤耐性菌については、MRSA 156 人増 (5.7%増)、MDRP 3 人増 (42.9%増)、VRE は前年の 2 人から 4 人となった。

各薬剤耐性菌の新規感染症患者数を分子、(総入院患者数-継続感染症患者数) を分母とした罹患率は、MRSA では 3.95%、CRE 0.03%、PRSP 0.02%、MDRP 0.01%であった。

なお、VRSA、MDRA による感染症の報告はなかった。

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳

新規感染症患者の合計は、女性よりも男性の方が多かった。薬剤耐性菌別の男女比は MRSA 1.5 : 1、PRSP は 6:1、CRE は 1.7 : 1、MDRP では 2.3:1 であった。

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳

新規感染症患者の年齢分布は、70 歳代以上が全体の 88.2%を占めていた。薬剤耐性菌別でも、MRSA、PRSP、MDRP、CRE はいずれも 70 歳代以上が多かった。

5. 耐性菌新規感染症患者の検体内訳

新規感染症患者において該当する薬剤耐性菌が分離された検体は、呼吸器系検体が 59.5%と最も多くを占め、中でも PRSP は 92.9%が呼吸器系検体であった。MRSA でも呼吸器系検体が 59.6%で最も多かった。CRE では呼吸器検体が 52.6%、次いで尿検体が 21.1%を占めていた。MDRP は尿検体が 40.0%と最も多く、呼吸器系検体とその他の検体が 30.0%で同率であった。(その他の検体の内訳については、巻末資料「資料 1」を参照のこと)

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳

新規感染症患者の感染症名は、肺炎が最も多く 53.1%を占めていた。中でも PRSP では 85.7%が肺炎であった。MRSA では肺炎が 53.2%と最も多く、次いで菌血症 13.0%、皮膚・軟部組織感染が 10.0%の順で報告された。MDRP は尿路感染症が 40.0%で最も多く、次いで肺炎 30.0%であった。CRE は肺炎が 42.1%で最も多く、次いで尿路感染症が 26.3%の順で報告された。

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科別内訳

新規感染症患者の診療科別割合は、内科系 65.0%、外科系 26.6%、小児科系 0.2%であった。耐性菌別では、MRSA は内科系 64.9%、外科系 26.8%、PRSP は内科系 78.6%、外科系 7.1%、MDRP は内科系 80.0%、外科系 10.0%、CRE は内科系 57.9%、外科系 15.8%といずれも内科系が多かった。

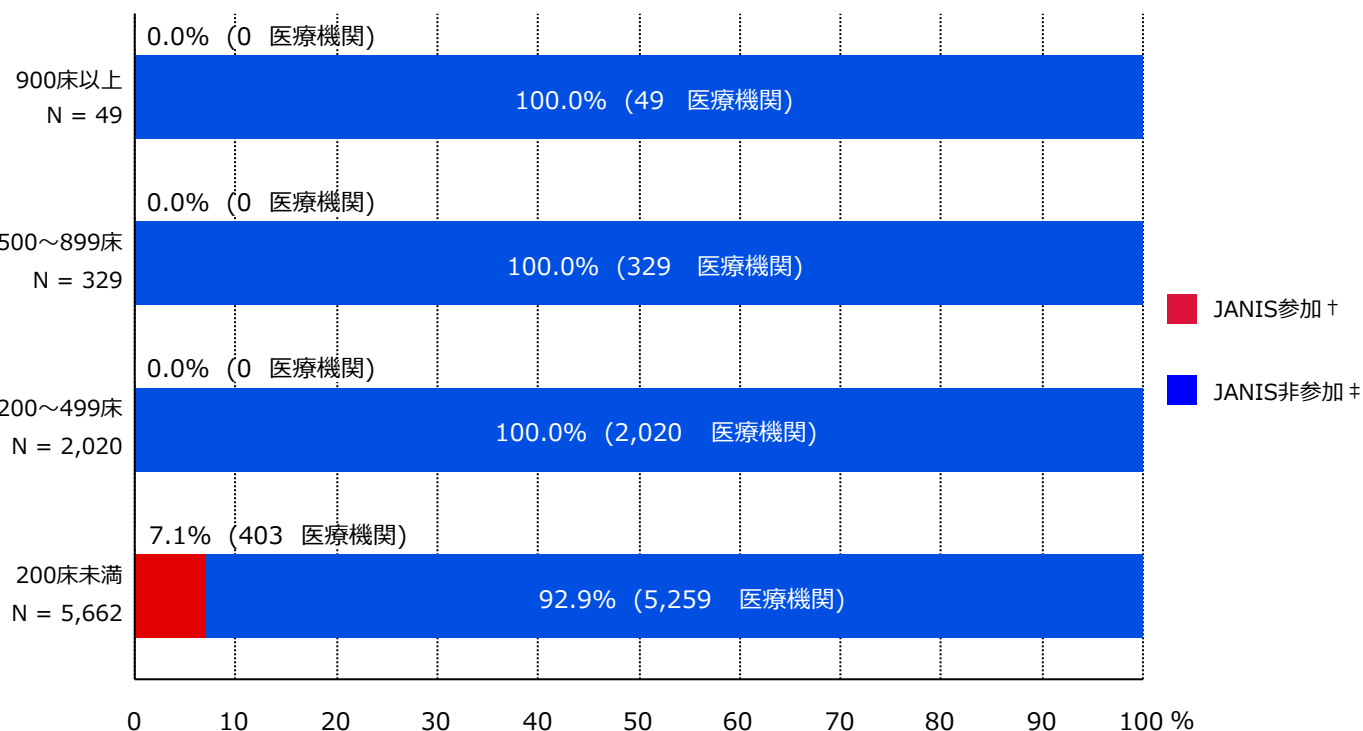
2025 年 1 月～12 月のうち、ひと月でもデータが未提出の 33 医療機関は集計対象外とした。

下記の基準に該当する医療機関に問い合わせを行った結果、提出されたデータに疑義が生じた 15 医療機関についても集計から除外した。

疑義データ および 集計対象外医療機関の条件

- 19 床以下の有床診療所の報告。
- 年間を通じて MRSA 感染症患者の報告がない。
- VRSA、VRE、MDRA 感染症の報告が年間 1 件以上ある。
- MRSA、MDRP、PRSP、CRE 感染症の罹患率が高く逸脱している(極値)。

1. データ提出医療機関*数 (403医療機関)



* ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2025年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2024年 全国医療機関数¶) - (2025年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2024年 全国医療機関数¶	2025年1月～12月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)	
		数	割合
900床以上	49	0	0 (0.0%)
500～899床	329	0	0 (0.0%)
200～499床	2,020	0	0 (0.0%)
200床未満	5,662	403	7.1 (7.1%)
病床数不明	-	0	- (-)
合計	8,060	403	5.0 (5.0%)

¶ 2024年医療施設(動態)調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	370	642,106	55	2,662	4.15%	0.00 3.37 106.67
2024年	382	676,683	65	2,763	4.08%	0.00 3.30 69.50
2025年	403	738,751	61	2,919	3.95%	0.00 3.31 134.45

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	370	642,106	0	7	0.01%	0.00 0.00 0.70
2024年	382	676,683	0	2	0.00%	0.00 0.00 1.00
2025年	403	738,751	0	4	0.01%	0.00 0.00 3.76

2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	370	642,106	0	32	0.05%	0.00 0.00 29.63
2024年	382	676,683	0	33	0.05%	0.00 0.00 14.93
2025年	403	738,751	0	14	0.02%	0.00 0.00 4.03

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2023年	370	642,106	1	12	0.02%	0.00 0.00 6.67
2024年	382	676,683	0	7	0.01%	0.00 0.00 5.15
2025年	403	738,751	0	10	0.01%	0.00 0.00 3.30

2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2023年	370	642,106	1	27	0.04%	0.00 0.00 3.94
2024年	382	676,683	1	31	0.05%	0.00 0.00 1.72
2025年	403	738,751	1	19	0.03%	0.00 0.00 3.76

2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

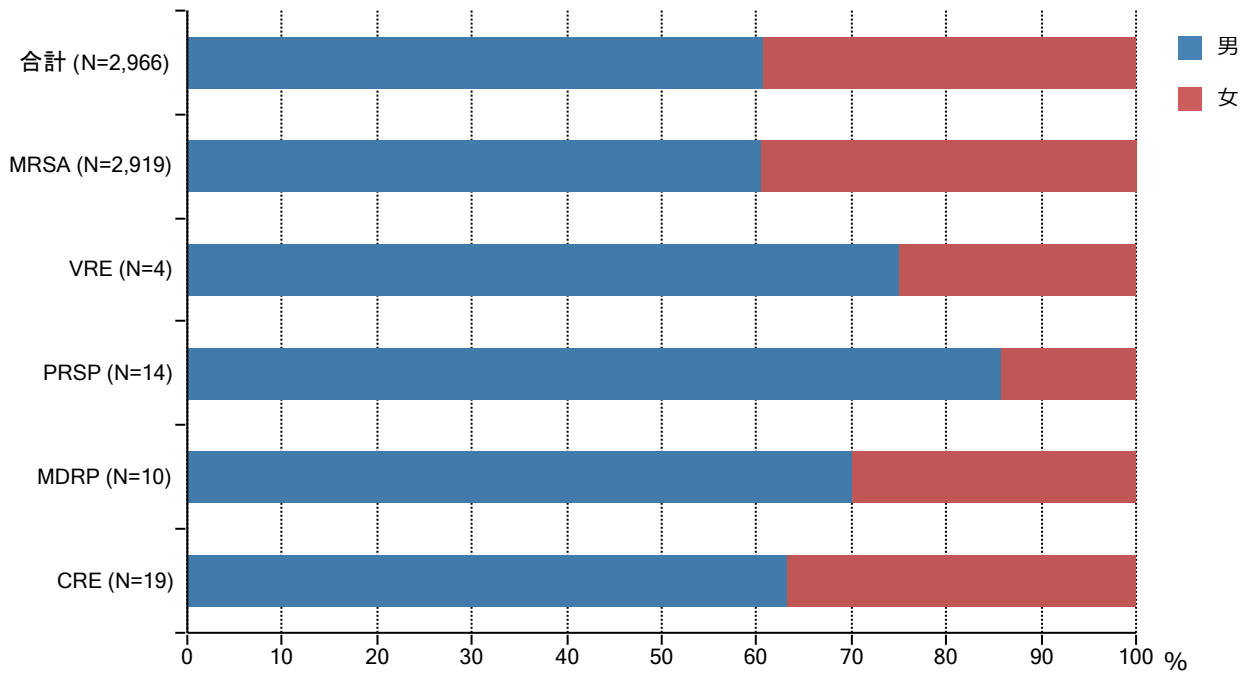
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

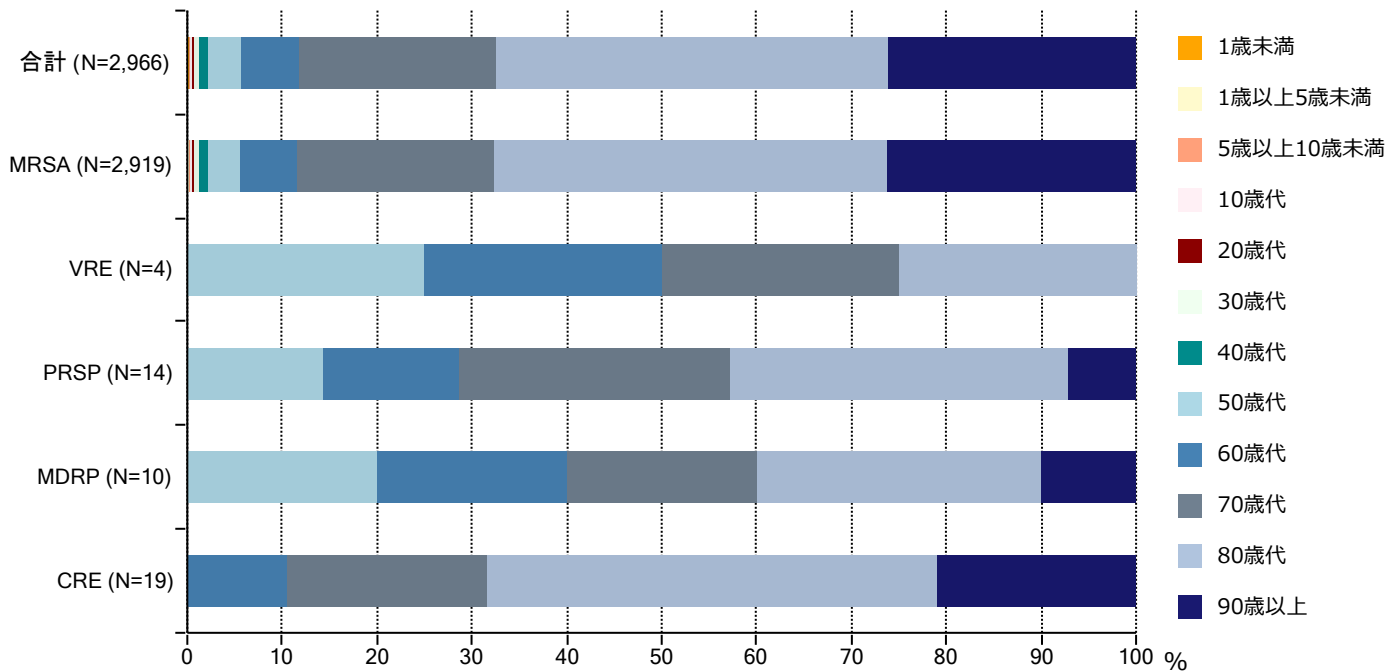
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



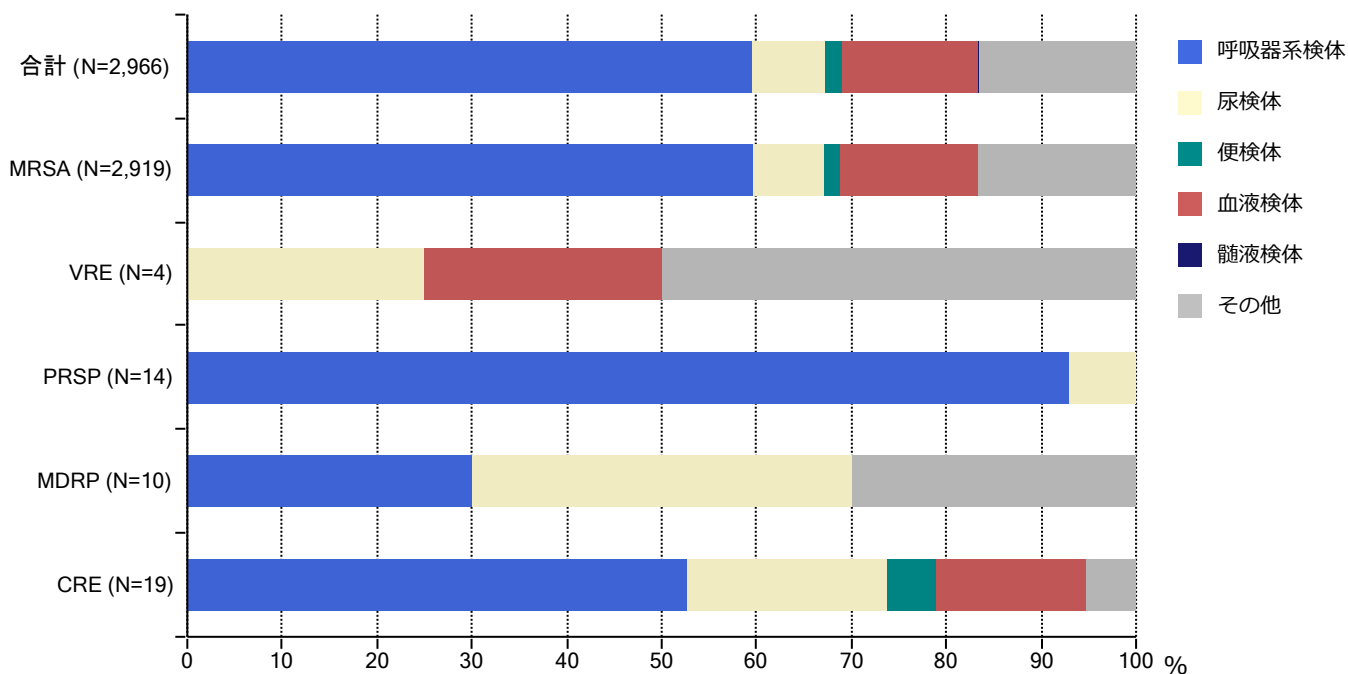
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	1,799 (60.7%)	1,765 (60.5%)	0 (-)	3 (75.0%)	12 (85.7%)	7 (70.0%)	0 (-)	12 (63.2%)
女	1,167 (39.3%)	1,154 (39.5%)	0 (-)	1 (25.0%)	2 (14.3%)	3 (30.0%)	0 (-)	7 (36.8%)
合計	2,966	2,919	0	4	14	10	0	19

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4 (0.1%)	4 (0.1%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
1歳以上5歳未満	3 (0.1%)	3 (0.1%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
5歳以上10歳未満	1 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
10歳代	7 (0.2%)	7 (0.2%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
20歳代	6 (0.2%)	6 (0.2%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
30歳代	16 (0.5%)	16 (0.5%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
40歳代	29 (1.0%)	29 (1.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
50歳代	101 (3.4%)	96 (3.3%)	0 (-)	1 (25.0%)	2 (14.3%)	2 (20.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
60歳代	183 (6.2%)	176 (6.0%)	0 (-)	1 (25.0%)	2 (14.3%)	2 (20.0%)	0 (-)	2 (10.5%)
70歳代	616 (20.8%)	605 (20.7%)	0 (-)	1 (25.0%)	4 (28.6%)	2 (20.0%)	0 (-)	4 (21.1%)
80歳代	1,225 (41.3%)	1,207 (41.3%)	0 (-)	1 (25.0%)	5 (35.7%)	3 (30.0%)	0 (-)	9 (47.4%)
90歳代以上	775 (26.1%)	769 (26.3%)	0 (-)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (10.0%)	0 (-)	4 (21.1%)
合計	2,966	2,919	0	4	14	10	0	19

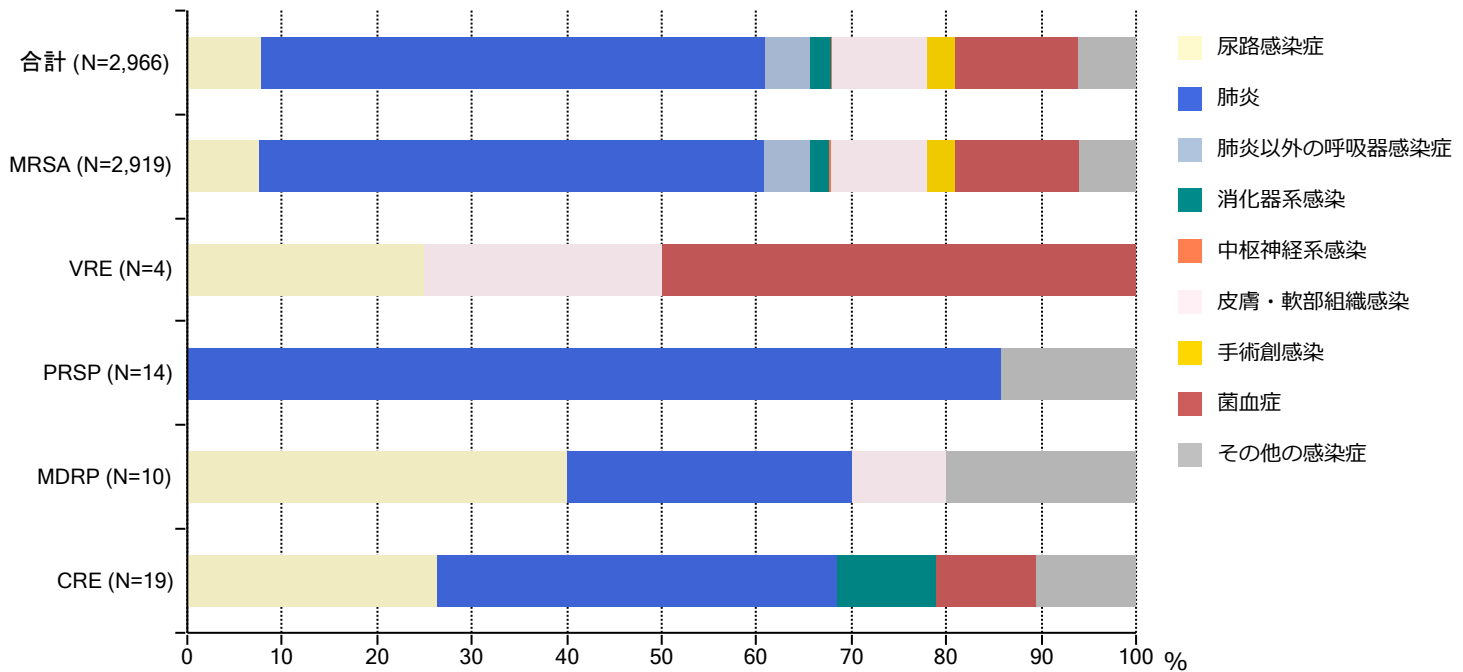
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	1,766 (59.5%)	1,740 (59.6%)	0 (-)	0 (0.0%)	13 (92.9%)	3 (30.0%)	0 (-)	10 (52.6%)
尿検体	227 (7.7%)	217 (7.4%)	0 (-)	1 (25.0%)	1 (7.1%)	4 (40.0%)	0 (-)	4 (21.1%)
便検体	53 (1.8%)	52 (1.8%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	1 (5.3%)
血液検体	426 (14.4%)	422 (14.5%)	0 (-)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	3 (15.8%)
髄液検体	2 (0.1%)	2 (0.1%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
その他	492 (16.6%)	486 (16.6%)	0 (-)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	0 (-)	1 (5.3%)
合計	2,966	2,919	0	4	14	10	0	19

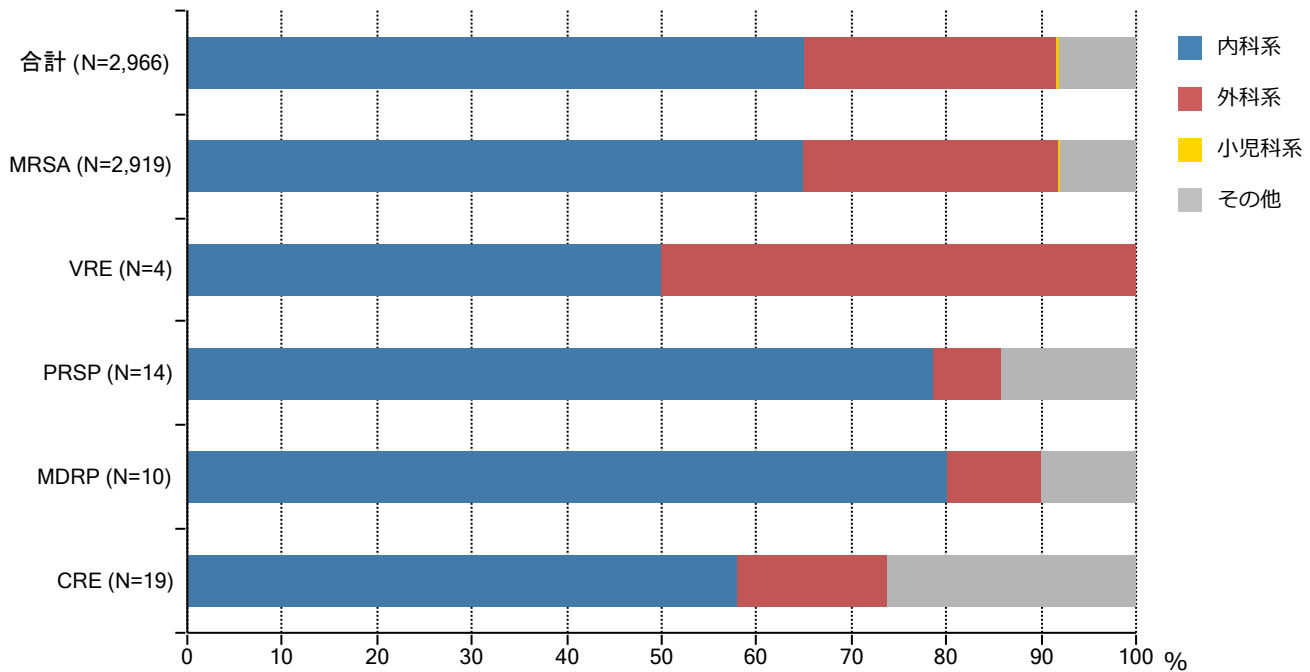
* 検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	231 (7.8%)	221 (7.6%)	0 (-)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	0 (-)	5 (26.3%)
肺炎	1,576 (53.1%)	1,553 (53.2%)	0 (-)	0 (0.0%)	12 (85.7%)	3 (30.0%)	0 (-)	8 (42.1%)
肺炎以外	140 (4.7%)	140 (4.8%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
消化器系	63 (2.1%)	61 (2.1%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	2 (10.5%)
中枢神経系	5 (0.2%)	5 (0.2%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
皮膚・軟部	295 (9.9%)	293 (10.0%)	0 (-)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
手術創	89 (3.0%)	89 (3.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
菌血症	383 (12.9%)	379 (13.0%)	0 (-)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	2 (10.5%)
その他	184 (6.2%)	178 (6.1%)	0 (-)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	2 (20.0%)	0 (-)	2 (10.5%)
合計	2,966	2,919	0	4	14	10	0	19

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	1,927 (65.0%)	1,895 (64.9%)	0 (-)	2 (50.0%)	11 (78.6%)	8 (80.0%)	0 (-)	11 (57.9%)
外科系	789 (26.6%)	782 (26.8%)	0 (-)	2 (50.0%)	1 (7.1%)	1 (10.0%)	0 (-)	3 (15.8%)
小児科系	7 (0.2%)	7 (0.2%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)
その他	243 (8.2%)	235 (8.1%)	0 (-)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	1 (10.0%)	0 (-)	5 (26.3%)
合計	2,966	2,919	0	4	14	10	0	19

* 診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内探痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膺分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料2

内科系	内科	
	循環器内科	
	神経内科	
	呼吸器内科	
	消化器内科	
	胃腸科	
	内分泌・代謝内科	
	腎臓内科	
	糖尿病内科	
	アレルギー・膠原病内科	
	膠原病内科	
	アレルギー内科	
	リウマチ内科	
	血液内科	
	感染症内科	
	老人内科	
	心療内科	
	その他	性病科
		神経科
		精神科
放射線科		
総合診療部		
救急部		
救急・集中治療部		
集中治療部(ICU)		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		
内視鏡科		
透析科		
理学療法・リハビリテーション科		
理学療法科		
リハビリテーション科		
麻酔科		
その他		

外科系	外科	
	消化器外科	
	肛門科	
	肝胆膵外科	
	心臓血管外科	
	内分泌外科	
	呼吸器外科	
	小児外科	
	小児循環器外科	
	小児消化器外科	
	産婦人科	
	産科	
	婦人科	
	整形外科	
	美容外科	
	眼科	
	耳鼻咽喉科	
	気管食道科	
	泌尿器科	
	皮膚・泌尿器科	
	皮膚科	
	脳神経外科	
	形成外科	
	歯科口腔外科	
	歯科	
	小児歯科	
	矯正歯科	
	口腔外科	
	手術部	
	移植・人口臓器科	
	小児科系	小児科
		新生児科
		新生児集中治療部(NICU)
周産期センター		

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.4.0)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/mL* または CFX \geq 8 μ g/mL*	CFX \leq 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/mL†	VCM \leq 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性† の <i>Streptococcus pneumoniae</i> 注) 無菌検体とは以下に該当する検査材料コードを示す 401 (静脈血)、402 (動脈血)、403 (髄液)、404 (胸水)、405 (腹水)、406 (関節液)、407 (骨髄液)、408 (心嚢水)	1131	無菌検体 PCG \geq 0.125 μ g/mL†	
			無菌検体以外 PCG \geq 4 μ g/mL†	
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† NFLX \geq 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX \geq 8mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm* NFLX・OFLX \leq 12mm* LVFX \leq 13mm* LFLX \leq 18mm* CPFX \leq 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† LVFX \geq 8 μ g/mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm† LVFX \leq 13mm* CPFX \leq 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	MEPM が耐性† の腸内細菌目細菌	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/mL†	MEPM \leq 22mm†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22) に準拠

† 感染症発生動向調査 (2025年4月7日施行) の基準に準拠

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/mL* または CFX \geq 8 μ g/mL*	MPIPC \leq 10mm† CFX \leq 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/mL†	VCM \leq 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/mL†	MPIPC \leq 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† NFLX \geq 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX \geq 8mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm* NFLX・OFLX \leq 12mm* LVFX \leq 13mm* LFLX \leq 18mm* CPFX \leq 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/mL† AMK \geq 32 μ g/mL† LVFX \geq 8 μ g/mL* CPFX \geq 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM \leq 13mm† AMK \leq 14mm† LVFX \leq 13mm* CPFX \leq 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/mL† IPM \geq 2 μ g/mL†かつ CMZ \geq 64 μ g/mL*†	MEPM \leq 22mm† IPM \leq 22mm† かつ CMZ \leq 12mm*†

* S,I,Rの判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査 (2023年5月26日施行) の基準に準拠